



諦めないことの大切さなどを伝えた赤木支社長

2/5 長洲町男女共同参画講演会  
私らしく働くということ～自分の夢・チームの夢～

町は、町中央公民館で「長洲町男女共同参画講演会」を開催しました。

この日は、九州旅客鉄道株式会社執行役員熊本支社長の赤木由美さんを講師に招いて、「私らしく働くということ～自分の夢・チームの夢～」と題して講演を行い、企業・事業所や地域の皆さんなど約110人が参加。

赤木支社長は、「何でもやりたい性格で、仕事も結婚も子育ても諦めなかった。感謝の気持ちを忘れずに、周りに頼って、男性も女性も自分のやりたいことを諦めないでほしい」とこれまでの自身の経験談を交えながら、参加した人たちにメッセージを送りました。



選手とガイドランナーの体験をしました

1/31 夢に向かって努力する大切さ  
令和元年度 腹栄中学校・長洲中学校立志式

町青少年育成町民会議（福田了裁会長）は、ながす未来館で、令和元年度腹栄中学校・長洲中学校立志式を開催しました。

これは、中学2年生を対象に、自分の将来の目標を考え、それに向かって努力しようとする気持ちを高めることを目的に行っているものです。

この日は、障がいのある人の陸上競技の指導やガイドランナーとして多くの国内、国際大会へ出場している柴尾源太さんを講師に迎え、「チャンスはいつもそこに！～パラ陸上との出会い～」というテーマで講演がありました。

実技では、実際に生徒たちがペアになり目隠しをして、選手とガイドランナー役になり、舞台上を歩く体験をしました。生徒たちは、柴尾さんのパラ陸上に対する想いや夢に向かって努力する大切さを学びました。



みんなの手で池に戻されました

1/28 熊本地震復興支援として  
東野中学校の鯉と金魚が里帰り！

熊本地震以降、本町に避難していた鯉と金魚が無事に、東野中学校（熊本市東区）に里帰りしました。

これは、熊本地震の被害で校舎の建て替えが必要となった東野中学校から、「工事期間中に面倒をみれなくなるため、預かってほしい」と相談を受けたことがきっかけで本町で預かっていました。

平成29年9月に町に避難してきた魚たちは、2年4カ月ぶりに同校に戻り、生徒たちの手によって、池に放流されました。

放流した生徒たちは、笑顔で魚たちを眺めていました。



勝利に向けて一生懸命プレーする選手たち

1/25、26 優勝を目指し16チームが熱戦  
第31回長洲有明ライオンズクラブ中学生サッカー大会

長洲有明ライオンズクラブ（木下紳会長）は、「第31回長洲有明ライオンズクラブ中学生サッカー大会」を開催しました。

この大会には、県内や福岡県、長崎県などから16チームが参加。優勝を目指し白熱した試合が繰り広げられました。

なお、結果は次のとおりです。  
優勝 FCヴィラノーバ水俣  
2位 荒尾FC  
3位 シャルムFC熊本



優勝した折地Bチーム



優勝した腹赤新町Cチーム

2/2 区民の親睦と健康増進  
六栄・腹赤校区グラウンドゴルフ大会

六栄校区公民館（城戸邦晴館長）と腹赤校区公民館（牧嶋保幸館長）は、グラウンドゴルフ大会を開催しました。

これは、校区内の区民の親睦と健康増進を目的に行われているもので、六栄校区は六栄小学校で134人、腹赤校区は総合スポーツセンターで164人もの選手たちが青空の下、和気あいあいとプレーを楽しみ、ホールインワンが出ると会場は大いに盛り上がりしました。

なお、結果は次のとおりです。

|    | 六栄校区 | 腹赤校区  |
|----|------|-------|
| 優勝 | 折地B  | 腹赤新町C |
| 2位 | 赤崎A  | 上沖洲A  |
| 3位 | 永方A  | 上沖洲C  |



瑞宝双光章を受章した前田哲之助さん（右から2人目）と妻の洋子さん（右から3人目）

1/31 高齢者叙勲  
前田哲之助さんが瑞宝双光章を受章

高齢者叙勲において、前田哲之助さん（駅通区）が瑞宝双光章を受章し、町役場で伝達式が行われました。

前田さんは、昭和29年から平成4年まで教職員として勤務し、町内では、長洲中学校や腹栄中学校、長洲小学校の通算13年の長きに渡り、子どもたちの教育に携わりました。

退職後は、平成6年から平成10年まで町の教育長として、現場主義を第一に考え公務にあたり、国の研究指定を受けるなど教員の指導力向上にも努めました。

また、郷土の文化振興の推進にも尽力され、文化財保護委員を長きに渡り務められ、「長洲町史」の編さんにも携わられました。



協定書を手にする中逸町長と甲斐署長（右）

1/31 安全・安心なまちづくりを  
荒尾警察署と連携協定を締結

町と荒尾警察署（甲斐雅英署長）は、安全・安心なまちづくりに関する連携協定の調印式を行いました。

これは、町と同署が安全・安心なまちづくりを推進するためには、協力関係をさらに強化していくことが重要と考え、緊密で包括的な連携を図り、安全・安心な地域社会を実現することを目的に結ばれたものです。

本協定を締結したことで、犯罪抑止や交通事故防止のみならず、空家や避難行動要支援者情報など、町が保有する各種情報を共有し、これまで以上に迅速な対応が可能となります。





中逸町長から優秀賞の伝達を受けた田成所長（中央）

## 2/7 海洋センターの魅力を発信 町B&Gが「おもてなしの部」で優秀賞

町B&G海洋センター（田成護所長）は、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（前田康吉会長）が主催する「2019 B&G PR大賞」のおもてなしの部で優秀賞を受賞しました。

これは、海洋センターや海洋クラブおよび自治体の魅力を形にして発信することを目的に平成27年度から実施しているもので、おもてなしの部には全国から101点の応募がありました。

同センターは、日頃から体育館の玄関やロビー、受付などを装飾し、利用者が訪れやすく居心地の良い空間を整えており、その成果が認められこの度の受賞となりました。



チャリティー自動販売機の日印はふれきんちゃん

## 2/25 1本10円の社会貢献 日本財団チャリティー自動販売機が設置されました

町は、町内の公共施設など6カ所にチャリティー自動販売機を設置しました。

これは、子どもの貧困対策支援や難病児支援などに貢献しようと、日本財団（笹川陽平会長）と公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（前田康吉会長）が連携して取り組んでいるもので、全国的に支援の輪が広がってきています。

設置された自動販売機には、ふれきんちゃんが描かれており、この自動販売機で飲料を1本購入すると、10円が寄付される仕組みで、子どもの貧困対策支援事業に活用されます。



海苔を寄贈した上田代表理事組合長（中央）

## 2/6 地元の味を堪能してほしい 熊本北部漁業協同組合が海苔を寄贈

熊本北部漁業協同組合（上田浩次代表理事組合長）は、町役場を訪れ、長洲で採れた冷凍網の一番海苔4,400枚を寄贈しました。

これは同組合が「海苔の日（2月6日）」にあわせて地元特産の味を知ってほしいと始めたもので、約30年以上前から毎年行われています。

上田組合長は「子どもたちに地元の海からおいしい海苔がとれることをしてほしい。そして、おいしい海苔を味わってほしい」と話しました。

寄贈された海苔は、町内の小中学校や幼稚園、保育所で給食時に配られ、2月12日には、腹赤小学校1年生が同組合の人と一緒に給食で海苔をいただきました。



みんなであめばん作りをしました

## 2/8 受講生が講師となり成果発表 第2回公民館フェスタ開催

昨年11月から2月にかけて、県と共同で開催した「地域の人づくり講座 長洲教室」の受講生が講師となり、第2回公民館フェスタを開催しました。

地域の人づくり講座とは、県教育委員会による講師養成講座で、自分の趣味や特技を人に教え、生きがいづくりや教える喜びを目的に実施してるもので、本年度は11人が受講しました。

この日は、約100人の来場者があり、子どもから大人まで世代を超えての交流ができ、とても楽しいイベントとなりました。